

# 哲 學 研 究



第 四 卷 第 一 冊

第 三 十 四 號

大 正 八 年 一 月 一 日 發 行

ソフィストとソクラテス……………	文學博士	波多野精一
カントの歴史哲學……………		米田庄太郎
黑白系統の兩眼視現象につきて……………		
……………	文學士	黒田源次
「タブー」論……………	文學士	赤松智城
創造的衝動と生産的衝動に就て……………		
……………	文學士	園 頼 三
彙 報……………		
新著紹介……………		
「哲學研究」第三卷總目次……………		

京 都 帝 國 大 學 文 學 大 科 學 內

京 都 哲 學 會



# 京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一、毎月一回研究會ヲ開ク
  - 一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク
  - 一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文科大學内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一、委員(若干名) 京都帝國大學文科大學哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
  - 一、書記(一名) 委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得
- 學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年貳圓八拾錢、前後二期ニ分テ前納スベキモノトス
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會令ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌『哲學研究』ノ配付ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

# 京都哲學會役員

委員	文學博士
波多野精一	文學博士
西田幾多郎	文學博士
朝永三十郎	文學博士
千葉胤成	文學士
狩野直喜	文學博士
米田庄太郎	文學博士
高瀬武次郎	文學博士
植田壽藏	文學士
野上俊夫	文學博士
本文三郎	文學博士
深田康算	文學博士
藤井健治郎	文學博士
小西重直	文學博士
寶嚴方治	文學博士

大前提(譬へば餘の東京人の如し(喰依)喰)

西洋論理學と因明學との主なる差異點は大凡以上の如くであるが、斯くの如き差異あるにも係らず、同じく之に附するに論理學の名を以てし、共に之を形式論理の一種なりといふにつきては亦必ず彼此同一の點がなくてはならぬ、著者はその同一點として、(一)論式の三段なる事、(二)一般より一部に推論する事、(三)既知より未知に及ぶ事の三條を擧げて居らるゝ、次に因明の意義、五問四記答、八大部門を陳述し、比量、表證進詮、有體無體、全分一分の四項を以て論法の種類とし、次に因明學の本論たる眞能立及び似能立に關して例證圖解詳密に紹介論述されてある。我國一般學者に取りて佛敎研究上一好著と言つて差支ないと思ふ。

最後に若しかういふ事が願ひ得るものだとすれば、本書用ふる所の因明學特有の術語に對し、附録とか索引とかの編裁を以て、初學者のために簡單平明なる一般的解釋が施して欲しかつたと言

ふ事を附け加ふる事を許して貰ひ度い。東京丙午出版社發行、菊版三四四頁、定價金壹圓七十錢。【木田義英】

寄贈書籍雜誌

兩譯 大乘起信論 隈部慈明氏編 法藏館  
對照 大乘起信論 隈部慈明氏著 同

哲學雜誌、思潮、丁酉倫理講演集、心理研究、六合雜誌、東洋哲學、無盡燈、東亞之光、六條學報、早稻田文學、學校教育、教育、內外教育評論、教育研究、教育學術界、教育界、教育時論、東京教育、奈良縣教育、靜岡縣教育、滋賀縣教育會雜誌、三重教育、岐阜縣教育、愛知教育雜誌、都市教育、信濃教育、佐賀縣教育、鹽備教育、宮城教育、愛媛教育、山形縣教育、秋田縣教育雜誌、文化運動、制作、理科教育、

前 號 目 次

ロダンに於ける肉體的と精神的	文學士 植田 壽藏
生命と思辨	文學士 久保 正夫
奥義書と起信論(完結)	文學士 羽 溪 了諦
心理學と客觀的方法(承前)	文學士 榎崎 淺太郎
彙報—新著紹介	

<b>註文規</b>	<b>廣告料</b>	<b>定價</b>	<b>會告</b>																								
<p>◎會員にあらざる請讀者の御註文及び廣告に關する件は寶文館へ御申込下され度候</p> <p>◎本誌の御註文はすべて代金郵税共前金にて御送り下さるべく候</p> <p>◎振替貯金にて御送金は(東京二八〇番)寶文館頭に願上候</p> <p>◎前金切れの場合は帶封に「前金切」の印章捺捺致すべくに付直に御拂込下され度候</p> <p>◎見本御入用の場合は金貳拾錢御送り下され度候</p> <p>◎特に請求書及領收書等を要する場合は郵券三錢御送付下され度候</p>	<p>一頁 金拾圓 半頁 金六圓</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">冊</td> <td style="text-align: center;">數</td> <td style="text-align: center;">定</td> <td style="text-align: center;">價</td> <td style="text-align: center;">郵</td> <td style="text-align: center;">稅</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">一</td> <td style="text-align: center;">冊</td> <td style="text-align: center;">金</td> <td style="text-align: center;">貳拾</td> <td style="text-align: center;">五</td> <td style="text-align: center;">錢</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">六</td> <td style="text-align: center;">冊(前金)</td> <td style="text-align: center;">金</td> <td style="text-align: center;">壹圓</td> <td style="text-align: center;">五</td> <td style="text-align: center;">拾錢</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">十二</td> <td style="text-align: center;">冊(前金)</td> <td style="text-align: center;">金</td> <td style="text-align: center;">參圓</td> <td style="text-align: center;">一</td> <td style="text-align: center;">不申</td> </tr> </table>	冊	數	定	價	郵	稅	一	冊	金	貳拾	五	錢	六	冊(前金)	金	壹圓	五	拾錢	十二	冊(前金)	金	參圓	一	不申	<p>一、本會へ入會希望ノ方へ直接本會宛テニ御申込被下度候</p> <p>一、會員ニシテ轉居セラレタル節ハ直チニ其旨御報知被下度候</p> <p>一、會費ハ振替口座大阪參〇六六參番、京都哲學會宛テニ御拂込被下度候</p> <p>一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・交換雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候</p> <p style="text-align: center;">京都帝國大學 文科大學內 京都哲學會 振替口座大阪參〇六六參番</p>
冊	數	定	價	郵	稅																						
一	冊	金	貳拾	五	錢																						
六	冊(前金)	金	壹圓	五	拾錢																						
十二	冊(前金)	金	參圓	一	不申																						

大正七年十二月二十七日印刷納本  
大正八年一月一日發 行

第三十四號 第四卷 第壹册

不許複製  
——  
禁轉載

**發行所**  
(東京) 東京日本橋區本石町三丁目  
(大阪) 大阪市東區淡路町四丁目

**寶文館**  
(東京) 東京堂、東海堂、北隆館、  
良明堂、上田屋  
(大阪) 盛文館  
(京都) 寶文館  
(神戸) 寶文館

**寶文館**  
(東京) 東京堂、東海堂、北隆館、  
良明堂、上田屋  
(大阪) 盛文館  
(京都) 寶文館  
(神戸) 寶文館

**發行所**  
(東京) 東京日本橋區本石町三丁目  
(大阪) 大阪市東區淡路町四丁目

**寶文館**  
(東京) 東京堂、東海堂、北隆館、  
良明堂、上田屋  
(大阪) 盛文館  
(京都) 寶文館  
(神戸) 寶文館

**寶文館**  
(東京) 東京堂、東海堂、北隆館、  
良明堂、上田屋  
(大阪) 盛文館  
(京都) 寶文館  
(神戸) 寶文館

**發行所**  
(東京) 東京日本橋區本石町三丁目  
(大阪) 大阪市東區淡路町四丁目

**寶文館**  
(東京) 東京堂、東海堂、北隆館、  
良明堂、上田屋  
(大阪) 盛文館  
(京都) 寶文館  
(神戸) 寶文館

**寶文館**  
(東京) 東京堂、東海堂、北隆館、  
良明堂、上田屋  
(大阪) 盛文館  
(京都) 寶文館  
(神戸) 寶文館

大正七年十二月二十七日印刷納本 大正八年一月一日發 行 第三十四號 第四卷 第壹册

高田保馬著

最新刊

# 社會學的研究

布裝全壹冊  
定價金貳圓  
送料金二十錢

著者、社會學の研鑽に従事せらるゝこと既に十年、常に斯學の純理に没頭して、其發達の趨勢に後れざらんと努力せられたり。

本書は其間に成れる苦心の勞作十二章を收む。冷靜氷の如き理論に包むに、人類の愛、詩的情熱を以てする所、一卷の特色にして、又充分に著者の學風を味ふに足るべし。

特に又大戰の終結と共に、世界に於ける社會組織の變革將に近からんとす、此時勢の必要に應じて、社會の根本的性質を明かにし、社會的思潮の眞髓を味はむとする人士にとりては、最も有益なる大文字なり。

## ◀ 著名の讀必下刻 ▶

### 本書の要目

一 二 三 四 五 六

- 一 社會進化論の性質
- 二 社會法則の性質
- 三 統計的方法と歸納法
- 四 生死減少逆行の法則
- 五 貧富と出生率
- 六 分離論

七 八 九 十 十一 十二

- 七 社會的定量の法則
- 八 分業について
- 九 家族の將來と社會の團結
- 十 資本家的集積說の研究
- 十一 優生學是非
- 十二 現代文明の迷妄—生産政策の否定

哲學研究 第三十四號 第四卷 大正八年一月一日發行(每月一回) (大正五年四月六日) (第三種郵便物認可) 定價金貳拾五錢

大坂市東區淡路町 寶文館 振替大坂四番 東京市日本橋區本石町 振替東京二八〇番